

会員 Web アンケート結果報告（概要）

公益社団法人日本アイソトープ協会
企画運営本部企画部広報課

このたび、日本アイソトープ協会では情報配信の許諾をいただいた会員の方へ電子メールにて当協会機関誌の電子化に係る“会員 Web アンケート”を実施しました。たくさんの方からご回答を賜り、厚く御礼申し上げます。自由記名としましたが、ご回答の半分以上はお名前の明記があり、皆さまの当協会に対する思いが表明されているものと重く受け止めております。いただいた貴重なご意見・ご要望は今後の協会運営に反映してまいります。

1. 調査期間：平成 27 年 1 月 22 日(木)～2 月 5 日(木)
2. 調査方法：会員情報に基づく電子メールアドレス宛てにアンケートを配信
3. 会員数と送信到達数：全会員 3,362 名中、送信到達数 1,877 名（全会員の 56%）
4. 有効回答数：715 件（全会員の 21%が回答。有効回答数 715 件のうち、403 名は記名）
5. 調査項目：全 20 項目
6. 単位：回答件数と回答比率（%）。“複数回答”の設問については、回答比率の合計は 100%を超える

Q1. 会員になられたきっかけを教えてください (複数回答)

放射線・RIの知識向上のため	513	72%
自社の業務と関連があるため	392	55%
協会の供給から廃棄までの事業に係る情報を得るため	178	25%
協会の目的に賛同したため	138	19%
アイソトープ・放射線研究発表会に参加するため	125	17%
部会活動に参画するため	116	16%
講習会・出版物の割引を利用するため	98	14%
その他*	42	6%

その他*（一部）

- 関連イベントの開催案内情報収集のため
- 放射線取扱主任者に選任されたため
- RADIOISOTOPES 誌に投稿するため
- Isotope News が欲しいため
- 主任者 1 種に関係する求人情報を得るため

Q2. 協会の事業で利用していることを教えてください (複数回答)

出版物の購入	459	64%
放射性医薬品、標識化合物及び放射線源等の購入	410	57%
各種講習会やセミナーへ参加	361	50%
RI 廃棄物の集荷	355	50%
放射線安全取扱部会年次大会へ参加	199	28%
アイソトープ・放射線研究発表会へ参加	195	27%
部会活動へ参画	153	21%
アイソトープの取扱いや放射線に係る校正等に関する技術相談	136	19%
その他*	50	7%

その他*（一部）

- 情報収集、知己の動向確認
- NMCC の機器 (PIXE) 利用とその成果発表
- 学会誌への投稿、閲覧
- RI 関連情報並びに部会発表報告書などの情報収集

Q3. 協会からどんな情報提供をご希望ですか？
(複数回答)

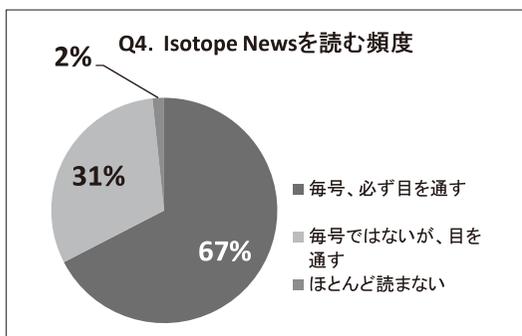
放射線障害防止法関係法令に関する最新情報	539	75%
放射線の利用技術等の最新動向	429	60%
定期講習，教育訓練，各種セミナー等の案内及び最新空席情報	248	35%
放射線防護機器の最新情報	241	34%
アイソトープの供給及びRI廃棄物の集荷の最新情報	212	30%
協会出版物・DVDの最新情報	186	26%
協会内の部会活動報告	41	6%
協会の事業及び財務の情報	16	2%
その他*	13	2%

その他* (一部)

- ▶ 収蔵図書，雑誌類の電子化と，インターネットを介した検索や閲覧
- ▶ 除染に関する情報，測定機器の情報
- ▶ 放射線事故等の詳細情報
- ▶ 次年度の放射線安全取扱部会年次大会の日程と場所
- ▶ RI廃棄物の集荷，処分の現状

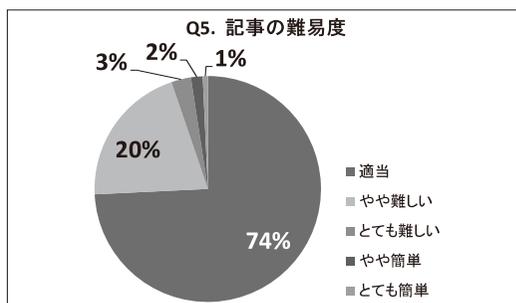
Q4. Isotope News はどれくらいの頻度で読まれますか？

毎号，必ず目を通す	482	67%
毎号ではないが，目を通す	221	31%
ほとんど読まない	12	2%



Q5. 記事の難易度はいかがでしょうか？ (任意回答)

適当	528	74%
やや難しい	146	20%
とても難しい	20	3%
やや簡単	12	2%
とても簡単	5	1%

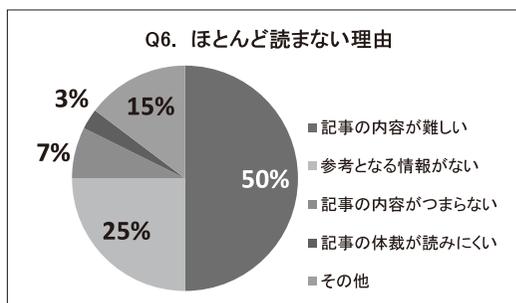


Q6. ほとんど読まない理由を教えてください (任意回答)

記事の内容が難しい	34	50%
参考となる情報がない	17	25%
記事の内容がつまらない	5	7%
記事の体裁が読みにくい	2	3%
その他*	10	15%

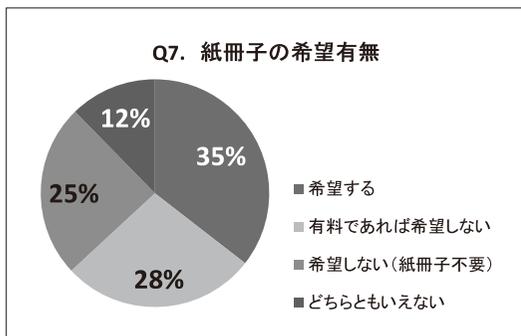
その他* (一部)

- ▶ 内容が専門的で難しすぎることもある。
- ▶ 医療関係は理解困難。
- ▶ 自分の仕事分野と異なる記事についてはやや難しいと感じる。
- ▶ 記事によって，やさしいもの，難しいもの色々基礎技術的なことが多く，医師の私は分からないことも多い。



Q7. Isotope News を電子化して会員ページ等で閲覧できるようになった場合、従来の紙冊子の送付を希望されますか？

希望する	254	35%
有料であれば希望しない	197	28%
希望しない（紙冊子不要）	176	25%
どちらともいえない	88	12%



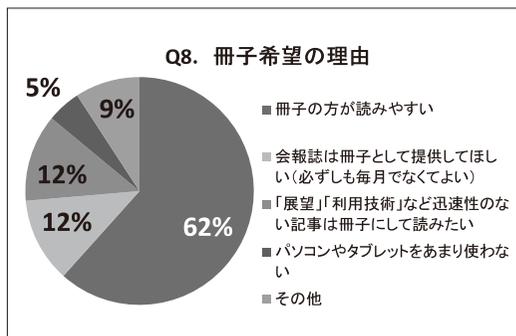
Q8. 冊子を希望する理由をお聞かせください（任意回答）

冊子の方が読みやすい	308	62%
会報誌は冊子として提供してほしい（必ずしも毎月でなくてよい）	60	12%
「展望」「利用技術」など迅速性のない記事は冊子にして読みたい	62	12%
パソコンやタブレットをあまり使わない	24	5%
その他*	46	9%

その他*（一部）

- 電子化されたものは、わざわざアクセスして見ないと思う。送付されてくるからこそ、時間のあるときに目を通せる。
- 読みやすさは冊子にはかなわないが、資料として情報検索が容易にできるシステムができていれば電子版でも良い。
- 抜粋でなく今のものがそっくり電子化されていて過去分がダウンロード可能であれば紙媒体は不要。
- 電子化とする場合でも、並行して必ず冊子（印刷物）の配布も希望。
- 主任者試験の解答解説など、記事によっては冊子の方が利用しやすい。

➢ 冊子はやめないでほしい。冊子なら事業所、図書室等を通じて、会員外でも利用でき、RIの知識の普及、啓発に役立つ。



Q9. 電子媒体の配信はどのような方法をご希望されますか？（複数回答）

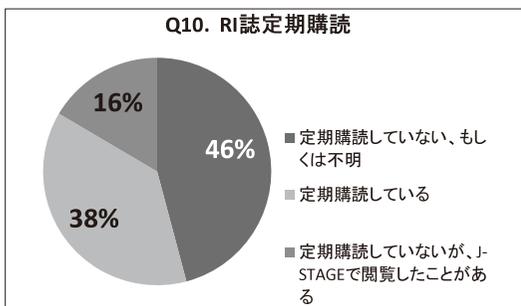
メールマガジンで個別に送信してほしい	432	60%
日本アイソトープ協会のホームページに掲載してほしい	406	57%
その他*	33	5%

その他*（一部）

- タブレット（iPad）で読む形態。
- 目次はメール、本文はホームページ。
- PDFでダウンロードできるようにしてほしい。
- アップデートの際に、メールで表題とアブストラクトを目次のように送っていただくと、ホームページ上で一括ダウンロードして、オフラインで閲覧できるようになると便利。
- 現在までの刊行の冊子を、PDF等で順番立てて並べてほしい。目次の一覧があれば更に良い。

Q10. RADIOISOTOPES を定期購読していますか？

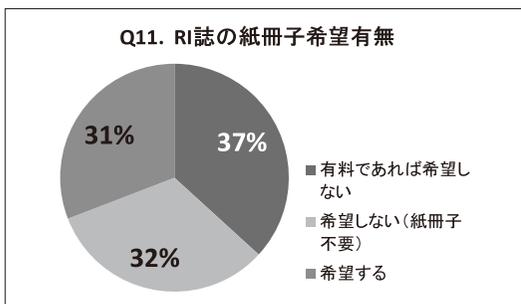
定期購読していない、もしくは不明	328	46%
定期購読している	269	38%
定期購読していないが、J-STAGEで閲覧したことがある	118	16%



【Q11.～Q14. は定期購読者のみ（269名）への質問】

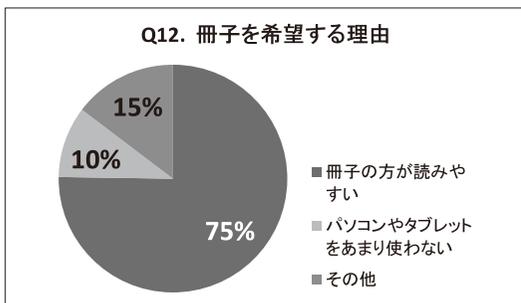
Q11. RADIOISOTOPES を電子化してPC等で閲覧できるようになった場合、従来の紙冊子の送付を希望されますか？

有料であれば希望しない	99	37%
希望しない（紙冊子不要）	87	32%
希望する	83	31%



Q12. 冊子を希望する理由をお聞かせください（任意回答）

冊子の方が読みやすい	82	75%
パソコンやタブレットをあまり使わない	11	10%
その他	16	15%



Q13. 電子媒体の配信はどのような方法をご希望されますか？（複数回答）

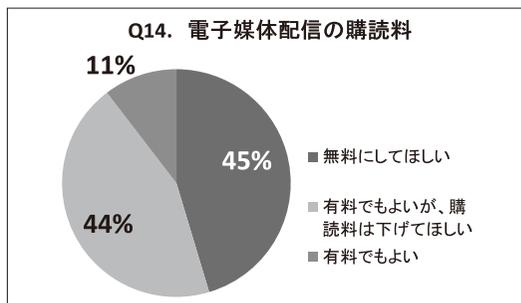
日本アイソトープ協会のホームページに掲載してほしい	183	68%
メールマガジンで個別に送信してほしい	140	52%
その他*	14	5%

その他*（一部）

- ▶ 目次だけでもメールでほしい。
- ▶ 業界の発展のため、会員外にも公開してほしい。
- ▶ アブストラクトはメールマガジンで送信してほしい。本文はホームページにアクセスしての閲覧であればよい。
- ▶ 媒体は電子版を中心にして、紙冊子を希望する場合は追加料金を取るようによければよい。
- ▶ 電子媒体を配信する場合の購読料は有料でも良い。ただし、支払総額が従来通りの料金ならば、である。電子媒体の配信に追加料金が発生するのであれば当面は電子媒体の購読はしない。購読料が変わらないで紙冊子が電子媒体に置き換わるのは歓迎。

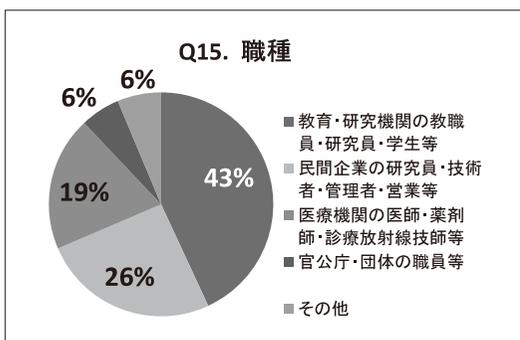
Q14. 電子媒体を配信する場合の購読料についてお聞かせください

無料にしてほしい	122	45%
有料でもよいが、購読料は下げてほしい	119	44%
有料でもよい	28	11%

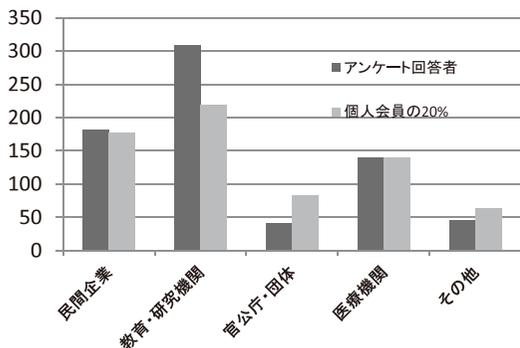


Q15. 職種

教育・研究機関の教職員・研究員・学生等	308	43%
民間企業の研究員・技術者・管理者・営業等	182	26%
医療機関の医師・薬剤師・診療放射線技師等	139	19%
官公庁・団体の職員等	41	6%
その他	45	6%



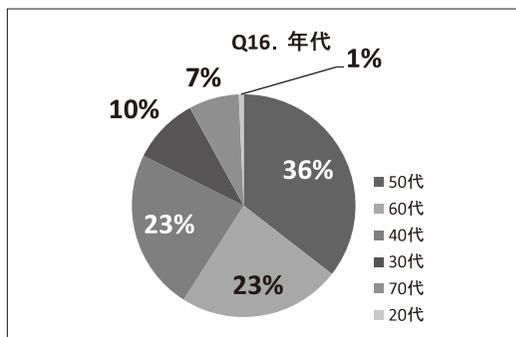
参考



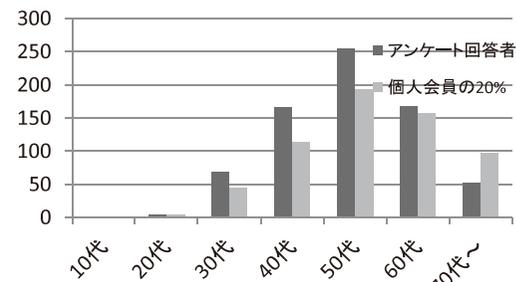
*回答者の会員種別をみると“教育・研究機関”の回答率が30%に上る一方、官公庁・団体の回答率は低調。“民間企業”，“医療機関”の回答率はほぼ平均の20%前後であった。

Q16. 年代

50代	254	36%
60代	168	23%
40代	167	23%
30代	69	10%
70代	52	7%
20代	5	1%



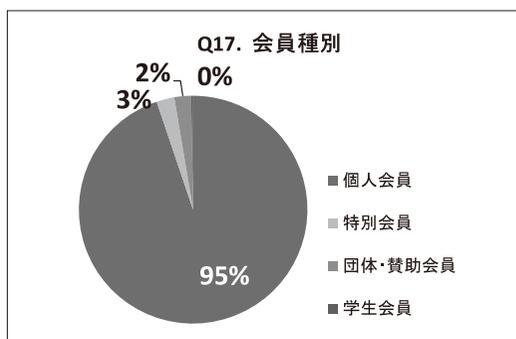
参考



*30代，40代，50代の回答率が高く，25～30%に上る一方，70代の回答率は低調。本アンケートは現役の会員の意見が反映されている可能性が高い。

Q17. 会員種別

個人会員	678	95%
特別会員	18	3%
団体・賛助会員	17	2%
学生会員	2	0%



Q18. 所属部会（複数回答）

所属していない、もしくは不明	344	48%
放射線安全取扱部会	237	33%
医学・薬学部会	106	15%
理工学部会	91	13%
ライフサイエンス部会	51	7%

Q19. 記名欄

Q20. 協会に対するご意見等ございましたらご記入ください（自由記入欄）

109件もの当協会に対するご意見をいただきました。内容は、“調査研究事業に関すること”53%，“協会の経営・運営に関すること”42%，“RI供給・廃棄物事業に関すること”5%でした。貴重なご意見・ご提案については、今後、関係部署において事業活動の参考にさせていただきます。誌面の都合上、一部抜粋して掲載します。

- 収支は会員全体で考える必要がある。事業規模が大きく、公益性の高い協会は堅い経営基盤が必要で赤字の出ない体制作りが不可欠。出版物は、協会員の会費は安く、協会に頼りすぎているところもある。学会誌へ依頼されても普通は原稿料などは出さない。電子化だけでなく、原稿料などの諸経費も削るべき。
- 以前から、電子化してほしい旨はお願いしていたが、なかなか進まなかった。今後は様々な分野で電子化が多くなってくると思われる。現在、協会の電子化は、一部は進んでいて一部は大変遅れている。電子化するのであれば、全体的に見直し、本気で協会員の意見を聞きながらどれだけ便利なものができるかを考えて行ってほしい。一度作ったらそれで終わりではなく、たえず協会員の意見を聞きながら時代の変化にも迅速に対応してほしい。
- 安全取扱部会の会員増加にもっと積極的に進行

動されてはどうか。安全取扱部会の活動自体も窮屈な感じがするし、協会に元気さ活力が足りないようにも感じられる。昨今はRI利用の低下に合わせて、RI情報収集の需要も少なくなっているため、困難な面もあるが、どうにか協会が盛り上がるような雰囲気づくりを心掛けていただければと願う。協会と会員また事業所の双方に有益であるようにお互い頑張ろう。

- 入会以降、部会活動にはあまり参加できていない。部会活動に関する情報の充実を希望。
- アイソトープ利用の利点についてもっと啓蒙が必要。アイソトープの利用例または利用方法について発信を強化してほしい。
- ICRP, IAEA など国際機関からの提言や報告の迅速な情報収集とその配布を積極的に行ってほしい。
- 放射線取扱主任者定期講習の日程で、週末の日程と札幌会場の開催日数を、増やしてほしい。

【アンケート結果を受けて】

ここには紹介できませんでしたが、当誌やRADIOISOTOPES誌への応援の声、職員への励ましなど、数々頂戴いたしました。改めて本アンケートへのご協力に感謝申し上げます。なお、本誌前月号（No.732）“平成27年度事業計画書・正味財産増減予算書”の“基本方針（103ページ）”にありますとおり、今年度は会員への迅速な情報発信を行い、会員サービスの更なる充実を図ります。本年2月から会員情報としてお預かりしているメールアドレス宛へメールマガジンを定期的に発行しております。今後、本誌やRADIOISOTOPES誌の電子配信について検討してまいります。今後ともご愛読いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

（広報課）